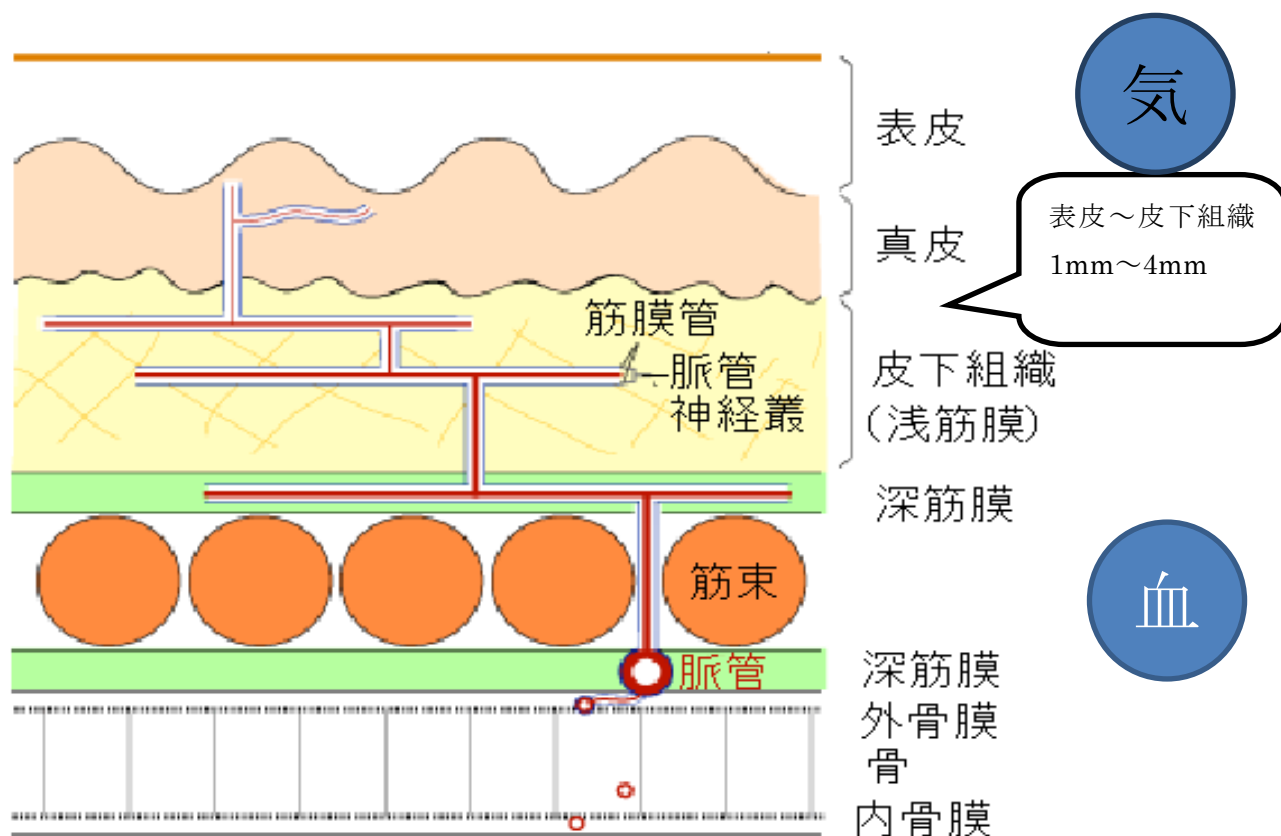


当治療室では、鍼を1～4mm程度の刺鍼が一般的である。

その、1～4mm程度のところに筋膜という皮下組織を包む膜がある。

そこに刺鍼する理由は、浅層のアナトミートレイン(特に浅い筋膜をつなぐ線路のようなもの)を意識して、対応穴に刺鍼することにより、痛みを緩和するだけでなく、姿勢保持や反射活動に密接に関係しているからです。

これまで経験的に行なってきた治療も、理論づけができるようになってきた新しい考え方です。



国際筋膜研究会:筋膜・リンパ研究部門HPより